

バリアフリー化の推進・アメニティーの向上に関する指針概要

国土交通省都市・地域整備局
大都市圏整備課大深度地下利用企画室

I. 大深度地下一般有人施設の特特殊性

1. 地上との移動距離・時間の増大

- (1) 移動制約者のみならず健常者の昇降機の利用頻度の増大
- (2) 設置場所に制約がかかりやすい
- (3) 移動制約者への人的協力体制整備の重要性
- (4) 地上からの給気・排気距離が長い

2. 施設の閉鎖性

- (1) 温度が比較的安定している
- (2) 空気が施設内部にこもりやすい
- (3) 地上の情報や自然光が入りにくい
- (4) 音が施設内部にこもりやすい、風の音等の自然音の欠如
- (5) 内部環境（温度・湿度、空気・気流、光、音）のコントロールが容易
- (6) 閉塞感、心理的圧迫感が強い

3. 迷路性

- (1) 方向感覚の低下
- (2) 位置情報が乏しい
- (3) 見通しが悪い

4. 地下水圧が高いため施設への地下水の漏水対策の重要性

Ⅱ. バリアフリー化の推進のための措置

検討項目		課 題	措 置
1	1-1 エスカレーターやエレベーターの整備	・ 輸送力の増強	<講ずべき措置> ○大容量化 ○複数設置 ・ 適切な間隔を保った設置位置 ○高速化 ・ 乗降時の安全性への配慮 ・ 乗り心地への配慮
		・ 導入空間の制約を踏まえた設置	<講ずべき措置> ○エスカレーターやエレベーターの設置 ・ 地下空間の構造、利用者の利便性、わかりやすさの考慮 ・ 移動制約者が無理なく利用できる配慮 ・ 空間の有効利用を図ることが可能なエレベーター機種の選定 ・ エスカレーターの折返設置 ・ 車いす使用者の優先利用
	1-2 情報伝達の対策	・ 上下方向を含めた方向感覚の低下や迷路性の改善	<講ずべき措置> ○音声誘導 ・ 地下の深さ・階数等に関する情報提供 ・ 情報を聞き取りやすくするための対策 ○表示上の工夫 ・ 案内サインや床面案内 ・ 電光表示 ・ ランドマークの設置 ○見分けやすい配色 ・ 必要な輝度比が確保された案内サインや階段の踏面等の配色 ○上記の措置の適切な組合せによる迷路性の改善
2	人的協力等のソフト面の対策	・ 地下空間にいる人々の協力を得る等の工夫	<望ましい措置> ○組織的な人的協力 ・ 一定の教育・訓練を受けたボランティアの活用 ・ 地下駅の駅員等に対する訓練・教育 ・ 移動制約者の訓練・教育への参加 ○必要なときに介助を呼べるシステム

Ⅲ. アメニティーの向上のための措置

検討項目	課 題	措 置
1 快適で安心できる内部環境の維持	・ 温度・湿度、空気・気流の適切な管理 ・ 光の適切な管理 ・ 音の適切な管理 ・ 施設への地下水の漏水対策	<講ずべき措置> ○施設内の特定の場所に空気の滞留することのない施設計画 ○温度・湿度、一酸化炭素濃度、浮遊粉塵量、臭気、気流等について総合的に管理できる空気調和施設の導入 ○照明の質と量を考慮した快適な空間を創出するための対策 ○地下空間で発生した騒音等の低減対策 ○施設の機能を維持し、その性能を保つための防水対策、排水対策
2 より快適な内部環境の創出	・ 閉塞感・圧迫感等の緩和	<望ましい措置> ○空間デザイン面での様々な工夫 ・ 地下空間の断面形状や寸法等の工夫による広さの演出 ・ 色、照明、模様、素材等の工夫によるイメージの向上 ・ 植栽、噴水等の附帯施設の設置による癒し空間の創出 ・ 光ファイバー等を通じた自然光の取込み ・ 風の音や虫の鳴き声、川のせせらぎといった自然音の活用
	・ 地下空間全体での移動距離が長くなることへの対応	<望ましい措置> ○バリアフリー化の推進・アメニティーの向上の両面に寄与する空間デザインの検討 ・ 長い下りエスカレーター乗込時の不安解消のための対策 ・ 利便性に配慮した地上部出入口の配置 ・ 手すりやさくなどの安全施設のデザイン面での工夫 ○ベンチ、便所等の休憩施設の設置
	・ 外部環境との隔絶に伴う利用者の心理的圧迫感の解消	<望ましい措置> ○外部との通信中継施設の設置 ・ 地上情報等を効果的に提供するための望ましい通信中継施設 ・ 携帯電話や携帯端末を用いた情報の受発信を行うための環境整備